

問1 1886年に和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没した際、日本人乗客全員が犠牲になった一方で、救命ボートで脱出したイギリス人船長らが軽い刑にしか問われなかった「ノルマントン号事件」が起きました。このような不当な結果を招く原因となった、外国人が日本で犯した罪をその国の領事が裁判する権利を何といいますか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 領事裁判権（治外法権） 2. 関税自主権 3. 最恵国待遇 4. 居住の自由

問2 日米修好通商条約が、その後の日本の政治情勢に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする「尊王攘夷」の運動が激しくなった。 2. 幕府の外交手腕が評価され、諸藩が幕府に協力する「公武合体」が実現した。 3. 鎖国体制が強化され、長崎以外の港での外国船の入港が厳しく制限された。 4. アメリカとの対等な立場が確立されたことで、関税自主権を完全に回復した。

問3 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。 (2021年 岡山公立入試 類似)

1. アヘン戦争 2. 辛亥革命 3. 太平天国の乱 4. 義和団事件

問4 幕末の開国にともなう貿易の開始は、当時の日本経済に激変をもたらしました。特に、安価な綿製品の輸入が日本の社会に与えた影響とその背景について、正しい説明はどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。 2. 日本産の綿織物が海外で高く評価されたため、輸出が急増して国内の綿製品が不足した。 3. 幕府が綿織物の輸入を奨励したことで、国内の農家は綿花栽培から生糸の原料となる養蚕へ一斉に転換した。 4. 輸入された綿織物に高い関税をかけることで、国内の伝統的な綿織物産業は手厚く保護された。

問5 1860年に起きた桜田門外の変によって大老の井伊直弼が暗殺され、幕府の統治能力が大きく低下した時期の出来事です。衰退した江戸幕府が朝廷と結び付くことで、幕府の権威を回復し、不安定になった政治体制を立て直そうとした政策を何と呼びますか。 (2024年 愛媛公立入試 類似)

1. 公武合体 2. 尊王攘夷 3. 文明開化 4. 大政奉還

問6 幕末の開港に際し、欧米諸国では金1に対して銀15の交換比率であったのに対し、日本では金1に対して銀5という比率でした。この交換比率の差を利用して、外国人商人が日本から大量の金貨を持ち出した問題に対し、幕府がとった対策とその影響として正しい説明はどれですか。 (2025年 山梨公立入試 類似)

1. 金の含有量を大幅に減らした万延小判を鑄造して、金貨の価値を国際水準まで引き下げたが、貨幣の価値自体が下落したため激しい物価上昇を招いた。 2. 金の含有量を大幅に増やした万延小判を鑄造して、金貨の信頼性を高めたが、国内の金が不足したため深刻なデフレが発生した。 3. 銀の含有量を大幅に減らした新しい貨幣を鑄造して、銀の価値を無理やり引き上げたが、農民による激しい一揆が全国で発生した。 4. 外国との交換比率を統一するために新しい紙幣を発行したが、偽造が相次いだため貿易が停止する事態となった。

問7 吉田松陰が処刑される直接のきっかけとなった「安政の大獄」が、幕府によって行われた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 愛媛公立入試 類似)

1. 幕府が天皇の許可を得ずに調印した日米修好通商条約に対し、反対する勢力を弾圧するため 2. 長州藩が下関で外国船を砲撃し、四か国連合艦隊に敗北した責任を追及するため 3. 幕府がキリスト教の布教を阻止し、鎖国体制を再び強化しようとしたため 4. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に軍事同盟を結び、武力による倒幕を計画したため

問8 1867年のパリ万国博覧会において、江戸幕府だけでなく、薩摩藩や佐賀藩が独自の旗印を掲げて出品を行いました。このように、幕府以外の有力な藩が独立した動きを見せた背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 富山公立入試 類似)

1. 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。 2. 幕府が全国の藩に門戸を開き、各藩の技術を海外に平等にアピールする「挙国一致」の政策を推進していた。 3. 1860年に派遣された遣米使節団の報告により、すべての藩が条約締結権を持つことが法律で定められた。 4. 欧米列強が幕府との通商を拒否し、地方の藩との直接取引のみを希望したため、藩の出展が義務付けられた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 領事裁判権（治外法権）	幕末に結ばれた日米修好通商条約などの不平等条約には、日本に滞在する外国人が犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができない領事裁判権が認められていました。ノルマントン号事件において、この権利によってイギリス人船長が不当に軽い処罰で済んだことが当時の日本社会に大きな衝撃を与え、条約改正を求める国民の声が急速に高まる背景となりました。
問2	答え 1 天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする「尊王攘夷」の運動が激しくなった。	井伊直弼が勅許を得ずに条約を結んだことは、天皇を尊重する人々から「幕府が朝廷を軽視している」と激しい反発を招きました。これが、天皇を敬う「尊王」と外国を追い払う「攘夷」の考えが結びついた「尊王攘夷運動」を加速させ、幕末の動乱を招く大きな原因となりました。なお、この条約は日本にとって領事裁判権を認め、関税自主権を欠く不平等な内容でした。
問3	答え 1 アヘン戦争	イギリスは清から茶を輸入し、銀が大量に流出する貿易赤字に苦しんでいました。これを打開するために植民地のインドから清へアヘンを送り込む「三角貿易」を行いました。清がアヘンを没収・廃棄したことで軍事衝突に発展しました。これが東アジアの近代化に大きな影響を与えるきっかけとなりました。
問4	答え 1 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。	産業革命によって機械で大量生産された安価な綿織物や綿糸が輸入されたことは、日本の伝統的な産業構造を揺るがしました。これにより、それまで自給自足や国内市場向けに生産していた綿花農家や織物業者は、輸入商品との価格競争に勝てず、経済的な打撃を受けました。一方で、輸出の主力となった生糸の生産農家は好景気に沸くなど、産業によって明暗が分かれる結果となりました。
問5	答え 1 公武合体	桜田門外の変によって幕府のリーダーシップが揺らぐ中、幕府は天皇の権威（朝廷）を借りることで、自らの支配力の正当性を維持しようと考えました。これを「公（朝廷）」と「武（幕府）」が合わさるという意味で公武合体と呼びます。一方、天皇を尊びながら外国勢力を排除しようとする「尊王攘夷」は、当初はこの公武合体政策と対立する動きとして広まりました。
問6	答え 1 金の含有量を大幅に減らした万延小判を鑄造して、金貨の価値を国際水準まで引き下げたが、貨幣の価値自体が下落したため激しい物価上昇を招いた。	当時の日本と海外では金銀の交換比率が大きく異なっており、日本で銀を金に替える方が圧倒的に有利であったため、日本の金貨が大量に国外へ流出しました。幕府はこれに対抗するため、金の含有量を従来の安政小判の3分の1以下にまで減らした「万延小判」を発行し、金貨1枚あたりの価値を実質的に下げる対策をとりました。しかし、市場に流通する貨幣の質が低下したことで貨幣価値が暴落し、幕末の混乱を助長する激しい物価の上昇（インフレーション）を引き起こす原因となりました。
問7	答え 1 幕府が天皇の許可を得ずに調印した日米修好通商条約に対し、反対する勢力を弾圧するため	1858年、大老の井伊直弼は孝明天皇の許可（勅許）を得ないまま、アメリカと日米修好通商条約を締結しました。この専断的な行動に対し、吉田松陰などの尊王攘夷派や有力大名が激しく反発したため、幕府は自分たちの政策に反対する者たちを厳しく処罰しました。これが安政の大獄と呼ばれる弾圧事件です。
問8	答え 1 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。	幕末期、薩摩藩や長州藩などは幕府の統制を離れ、独自に海外からの武器購入や技術導入を強めていました。パリ万博では薩摩藩が幕府とは別に「日本薩摩太守政府」として出品するなど、幕府による日本統治が形骸化し、倒幕に向けた実力が蓄えられていた状況を示しています。